TOTO

トイレ用擬音装置

手かざし・露出タイプ：YES400D型（乾電池タイプ）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。商品にはお客様用として、取扱説明書が同梱されています。工事完了後は必ずお客様へお渡しください。取扱説明書に付属の保証書には、店名およびお取付日を必ず記入してください。

安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

分解禁止	**絶対に分解したり修理・改造は行わない** 火災の原因になります。
水場使用禁止	**屋外や浴室など水がかかったり、湿気の多い場所には設置しない** 火災の原因になります。
禁 止	**下記のようなところで使用しない** ・粉塵が多い場所、振動が激しい場所、機械、家具内 ・可燃性ガス、腐食性ガスなど発生する場所 ・器具取付面に結露が発生する場所 ・車内や船舶への搭載 火災や電池の液もれによるやけどや故障の原因になります。
	壁面以外には取り付けない 火災の原因になります。 （本商品は壁取付専用器具です）

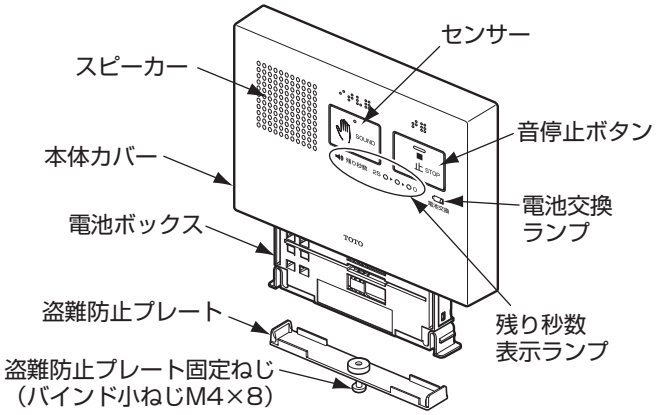
⚠ 注　意

禁 止	**シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性洗剤、クレンザー、磨き粉を含んだ洗剤やたわしなどは、本体を傷めるので使用しない** 故障や事故の原因になります。
	スピーカー部に金属くずを入れない 故障や音割れの原因になります。
必ず実行	**強い力や衝撃を与えない** 故障や事故の原因になります。

⚠ 注　意

必ず実行	**取付面が薄壁の場合は、事前に厚み30mm以上の補強木、または12mm以上の合板を設ける** 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。
	コンクリート壁に取り付ける場合は、当社指定の固定金具【品番 T110D28 樹脂プラグ20個入り（φ6×30、下穴φ6）】もしくは市販のコンクリート用プラグを使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。
	付属の壁取付ねじ（座金組込なべタッピンねじφ4×25）を使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。
	取付完了後、商品にガタツキがないことを確認する 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。
	電池については下記に従う ・電池の使用表示に従う ・乾電池は⊕プラスと⊖マイナスを正しく入れる ・長時間使用しない場合は、乾電池を外しておく 従わないと電池が液もれし、やけどや故障の原因になります。
	電池ボックスの表裏に注意して本体に差し込む 逆に差し込んだ場合、商品が破損します。
	施工は施工説明書に従って確実に行う 正しく取り付けないと故障の原因になります。

1 各部のなまえ



2 付属部品の確認

■ 次の部品があることを確認してください。

付属部品明細		
乾電池	単3形アルカリ乾電池	4個
壁取付ねじ	座金組込なべタッピンねじ φ4×25	4本
施工説明書(本書)		1部
取扱説明書(保証書付)		1部
電池ボックス逆差し注意チラシ		1部

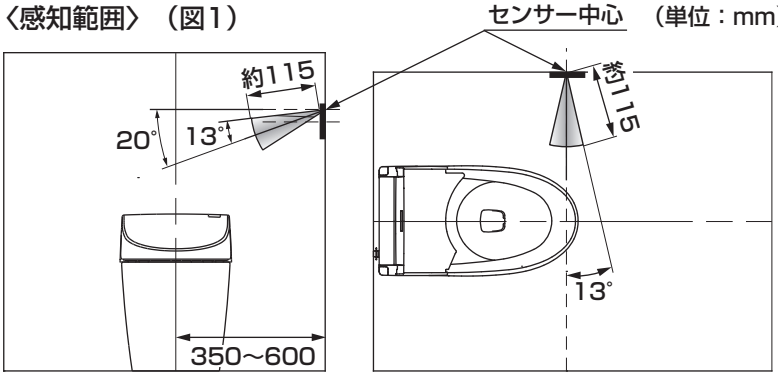
3 取付位置

■下記を考慮して取付位置を決めてください。

●感知範囲（図1）に以下の障害物がないこと。
①設置物（収納棚、手すりなど）
②扉や他機器の可動領域（紙切板のはね上げ位置など）
③タオルや垂れたトイレットペーパーなど
④感知範囲に、用便中の人体、または出入りする際に人が通過する領域がないこと
（他のリモコン類を操作する際に手や腕が通過する領域も含む）

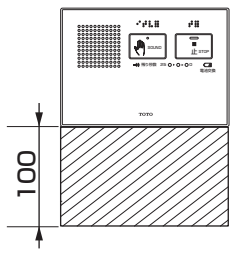
●真正面に鏡やステンレスなど反射しやすいものがないこと。
●本商品と他社のセンサー機器との感知範囲が重ならないこと。
●ドア開閉などで著しく振動するような場所は避けること。
●電池交換などのメンテナンスのため、商品下部に障害物設置禁止領域（図2）をとること。
※使用者の耳元近くに設置しない方が望ましい。

〈感知範囲〉（図1）　センサー中心　（単位：mm）

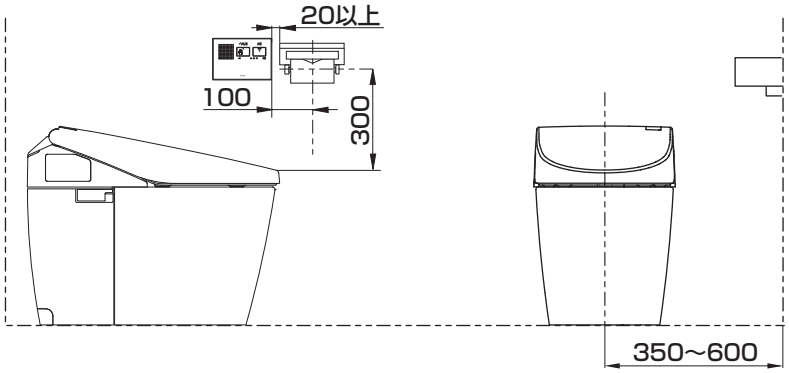


※上記範囲は対象物が白色紙の場合であり、対象物により若干異なります。

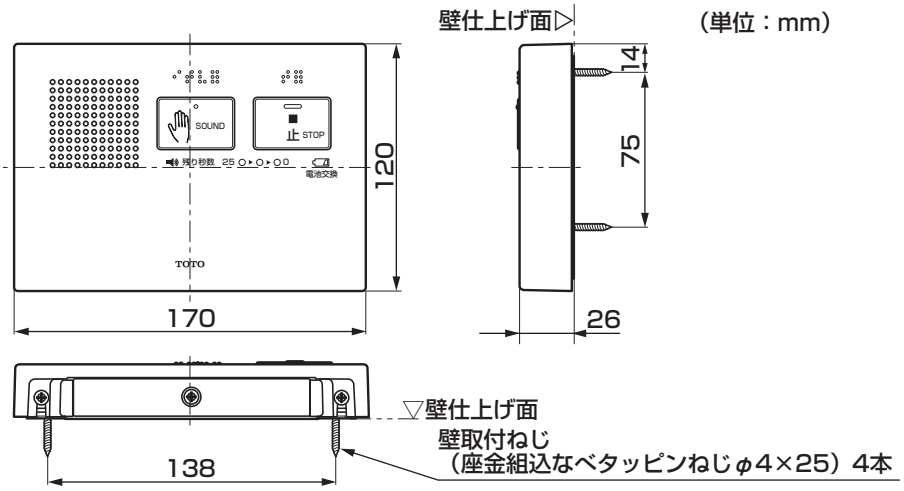
〈障害物設置禁止領域〉（図2）　（単位：mm）



〈参考セット図〉腰掛式便器の場合　（単位：mm）



4 商品寸法



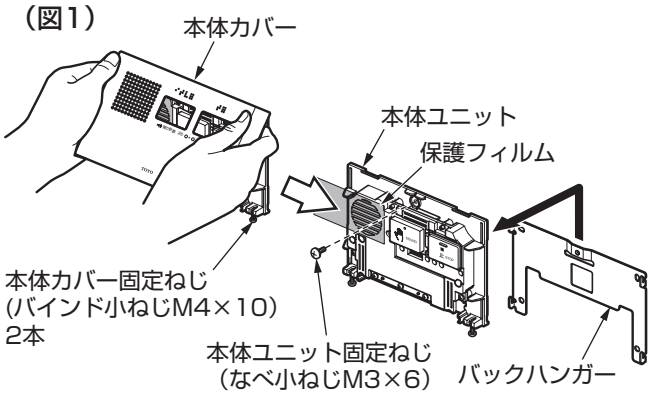
5-1 取付方法

⚠ 注　意

必ず実行	**取付面が薄壁の場合は、事前に厚み30mm以上の補強木、または12mm以上の合板を設ける** 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。
	コンクリート壁に取り付ける場合は、当社指定の固定金具【品番 T110D28 樹脂プラグ20個入り（φ6×30、下穴φ6）】もしくは市販のコンクリート用プラグを使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。
	付属の壁取付ねじ（座金組込なべタッピンねじφ4×25）を使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。

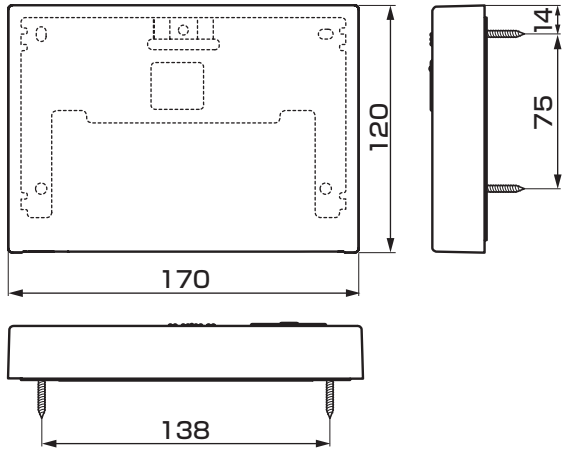
①本体カバー固定ねじ（バインド小ねじM4×10）2本をゆるめ、本体カバーを斜め上に引き上げて外してください。
本体ユニット固定ねじ（なべ小ねじM3×6）を外し、本体ユニットをバックハンガーからスライドさせて取り外してください。（図1）

（図1）



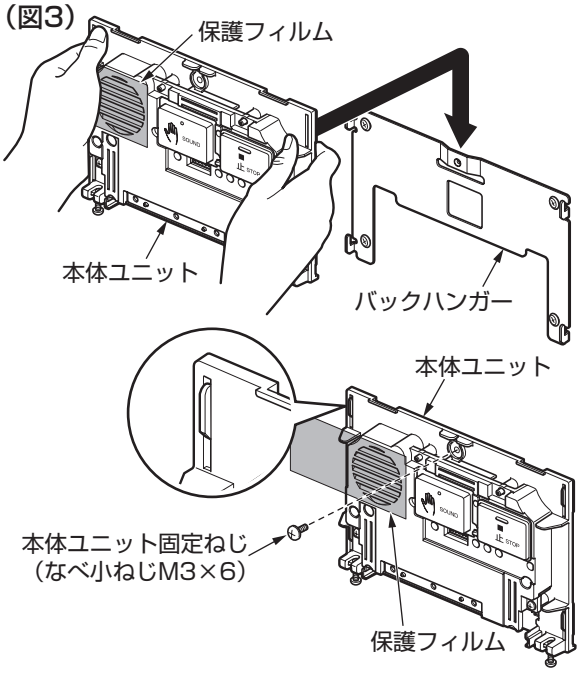
②バックハンガーを付属の壁取付ねじ（座金組込なべタッピンねじφ4×25）4本で所定の位置に取り付けてください。（図2）

（図2）



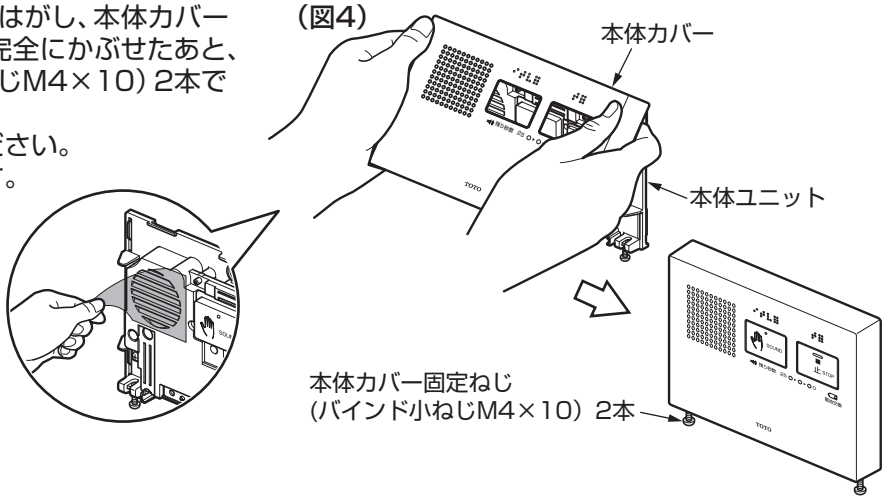
③本体ユニットをバックハンガーにスライドさせて取り付け、本体ユニット固定ねじ（なべ小ねじM3×6）で固定してください。（図3）

（図3）



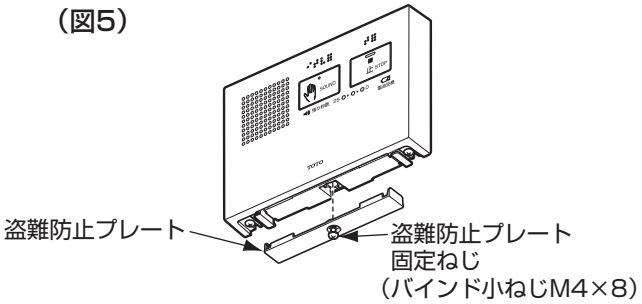
④本体ユニット表面の保護フィルムをはがし、本体カバーを本体ユニット上部に引っ掛けて完全にかぶせたあと、本体カバー固定ねじ（バインド小ねじM4×10）2本で固定してください。（図4）
※必ず保護フィルムをはがしてください。
正しく動作しない原因になります。

（図4）



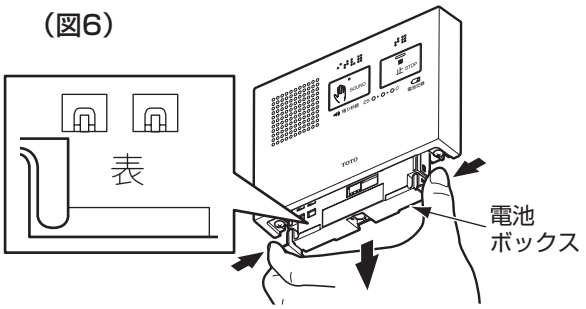
⑤盗難防止プレート固定ねじ（バインド小ねじM4×8）をゆるめ、盗難防止プレートを外してください。（図5）

（図5）



⑥電池ボックスの左右のつめを指で挟んで本体から引き出してください。（図6）

（図6）



裏面につづく➡

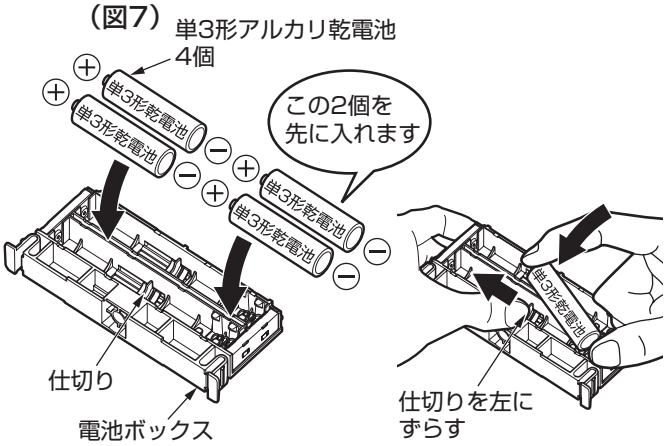
⑦電池ボックスの仕切りをずらしながら、同梱の単3形アルカリ乾電池4個を⊖側から入れてください。（図7）

⑧電池ボックスの**「表」と表記された面を表に向けて**本体に差し込んでください。
※「パチン」と音がするまで差し込んでください。
※付属の電池は動作確認用です。電池寿命を保証するものではありません。

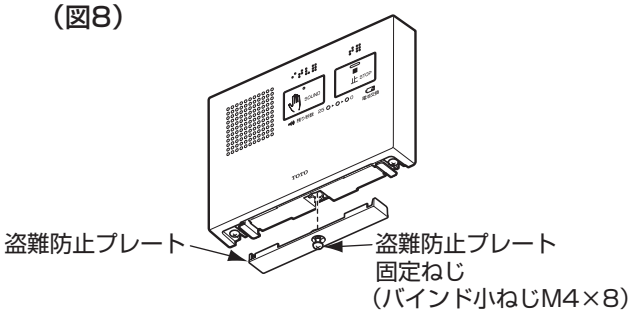
⚠ 注　意	
必ず実行	**電池については下記に従う** **・電池の使用表示に従う** **・乾電池は⊕プラスと⊖マイナスを正しく入れる** **・長時間使用しない場合は、乾電池を外しておく** 従わないと電池が液もれし、やけどや故障の原因になります。
	電池ボックスの表裏に注意して本体に差し込む 逆に差し込んだ場合、商品が破損します。

⑨盗難防止プレートを盗難防止プレート固定ねじ（バインド小ねじM4×8）で取り付けてください。（図8）

（図7）



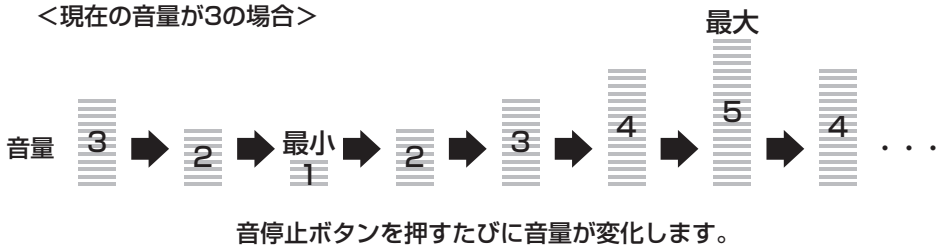
（図8）



音量調節の仕方

＊約60～約80dB(A)※の範囲で音量を設定できます。（「1」(最小)～「5」(最大)の5段階調節）
出荷時は「4」に設定されています。

■音停止ボタンを約10秒間長押しすると、「ピッ」と音が鳴ります。
指を離すと音量調節モードに入り、現在設定されている音量で音が流れます。
・音量調節モード中、音停止ボタンを押すたびに音量が小さくなり、最小になると、音停止ボタンを押すたびに音量が大きくなります。



・操作がない状態が約5秒間続くと、「ピッ」と音が鳴り、音量調節モードが終了し、設定した音量になります。
※無響音室にてスピーカー面から距離500mmでの測定値

音変更の仕方

＊出荷時は「水の流れる音」に設定されていますが、「水の流れる音＋鳥のさえずり」に変更することができます。

■音停止ボタンを約15秒間長押しすると、「ピッピッ」と音が鳴ります。
※約10秒後に「ピッ」と音が鳴りますが、指を離さず「ピッピッ」と鳴るまでそのまま押し続けてください。
「ピッピッ」と音が鳴った後、指を離すと音変更モードに入り、現在設定されている音が流れます。
・音変更モード中、音停止ボタンを押すたびに音が変更されます。
（「水の流れる音」→「水の流れる音＋鳥のさえずり」→「水の流れる音」・・・のように、2種類の音が切り替わります。）
・操作がない状態が約7秒間続くと、「ピッピッ」と音が鳴り、音変更モードが終了し、設定した音になります。

6 施工後の確認

⚠ 注　意	
必ず実行	**取付完了後、商品にガタツキがないことを確認する** 取り付けが不安定になり、落下してけがの原因になります。
	取付完了後、長期間使用しない場合は乾電池を外しておく 従わないと電池が液もれし、やけどや故障の原因になります。

①動作の確認

センサー部に手をかざし、約25秒間水の流れる音がすることを確認してください。

②動作確認時のチェックポイント

不具合が生じたらチェックポイントを再確認してください。

動作不具合		チェックポイント
音が鳴らない	残り秒数表示ランプが点滅しない	電池の方向を間違えていませんか。 ⇒電池を正しく入れてください。
		センサーからの距離は遠くありませんか。 感知距離：約115mm※ ⇒センサーに近づけて手をかざしてください。
	残り秒数表示ランプが点滅している	感知範囲に障害物がありませんか。 ⇒障害物を取り除いてください。 センサーの表面が汚れていませんか。 ⇒汚れを取ってください。 センサーにキズが入っていませんか。 ⇒部品交換してください。
音量が小さい／大きい		適切な音量に設定されていますか。 ⇒ 5-3「音量調節の仕方」を参考に、音量を設定してください。

※対象物が白色紙の場合であり、対象物により若干異なります。